

上沼の森植樹会に参加

かつて、市営牧場として鹿角短角牛を生産していた「上沼牧野」跡地を、広葉樹の森に復元し水源のかん養や土砂崩壊防止に貢献したいと願い令和6年9月14日（土）、米代川源流自然の会（宮野和秀会長）主催による「第18回上沼の森植樹会」が鹿角市花輪の国有林で行われ、当署からは職員2名が参加しました。

主催者によると、取組を開始してからこれまで17,600本の広葉樹を植えているそうで、今回は関係者や市民ら約50名が参加しブナ、ミズナラなどの広葉樹900本の苗木を植樹しました。

開会式では、主催者の宮野会長や来賓からの挨拶に続き、植樹方法について説明が行われ、その後それぞれに分かれて植樹を開始。



開会式の様子



参加者による植樹作業

この日は天候に恵まれ、気持ちの良い秋晴れのなか、参加者たちは苗木を1本ずつ丁寧に植樹していました。植樹終了後は来賓や参加者たちが力を合わせて記念標柱を埋設し、植樹会は無事終了しました。

今年から鹿角市主催の植樹祭も上沼牧野跡地で行われており、米代川源流の山がかつての広葉樹の森に復元するよう、今後も協力していきたいと思います。



子供たちも植樹のお手伝い



記念標柱の埋設